

天塩町地域おこし協力隊 2018年10月～12月活動報告 地域プロデューサー 久保 綾香

10月～12月は大きく分けて以下の7つの活動を行った。

1. ダンス指導
2. 地元生産者の海外販路拡大支援
3. マードック大学の観光学研修におけるフォローアップ
4. セミナーの実施
5. イベント・来訪者受け入れ等の実施支援
6. イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集
7. その他

各項目の具体的な内容については以下の通り。

1. ダンス指導

10月から12月にかけて、ダンス指導に関する活動に大きな広がりがあった。これまではダンス教室（複数のクラス）を月に1度行っているだけであったが、この3ヶ月間においては、これまでと同様のダンス教室に加え、天塩町内のイベントでのダンスパフォーマンスや天塩高校の体育の授業におけるダンス指導、プロのダンス指導の現場の視察等、様々な活動を行った。

(1) ヒップホップダンス教室

実施したダンス教室は以下の通り。

- キッズクラス（10/12, 11/14, 12/10）
- エクササイズクラス（10/12, 11/14）
- 初級クラス（10/15, 11/16, 12/10）
- Jazz hip hop ワークショップ（10/19）

これまでと同様に「キッズ」「エクササイズ」「初級」の3つのクラスを実施し、加えて、不定期で実施するワークショップとして「Jazz hip hop」クラスを開催した。キッズクラスは参加者の多くが未就学児であることから、なるべく楽しくダンス教室に参加してもらえるよう、本格的なヒップホップダンスの指導からリズムトレーニングやその場ですぐに踊れるようなごく簡単な振り付けへと内容を変更した。また、慣れ親しんだアニメやCMで使用されている有名な曲をレッスンに取り入れ、小さな子どもが興味を持てるような工夫を施した。エクササイズクラスは、その場ですぐに実践でき、体力づくりにつながるようなレッスンになるよう、振り付け等は行わずに筋力トレーニングに近いような動きをメインに取り入れるようにした。初級クラスは、これまでのレッスン内容と同様に、基礎的な部分の指導と振り付けをメインとしたレッスン内容とした。

約半年間ダンス教室を行ってきた中で、参加者がどのような内容のクラスを求めているかなども少しずつ把握できるようになってきた。引き続きダンス教室の実施体制やレッスン内容を検討・改善しつつ、来年度からはより参加者の需要に合った新しい体制でのダンスレッスンを提供していきたいと考えている。



10月12日実施のキッズクラス



12月10日実施の初級クラス

(2) 天塩町内のイベントでのダンスパフォーマンス

ダンスパフォーマンスを行ったイベントは以下の通り。

- 天塩町町民文化祭（10/28）
- 天塩町フェスタ（11/24）

これまでダンス教室に参加してきたメンバーで有志を募り、ダンス教室のグループとして、天塩町町民文化祭と天塩町フェスタにてダンスパフォーマンスを行った。天塩町内のイベントにおけるストリートダンスチームのパフォーマンスは初めてのことであり、ダンスチームがイベント等で発表・出演していくうえでの足がかりとなった。それぞれのダンスパフォーマンスは大いに盛り上がりを見せ、お客様から大変好評であった。

こうしたダンス発表や出演を今後も継続していくことで、ストリートダンスの普及、天塩町のイベントの活性化、また参加した方がダンスを通じて新しい趣味や楽しみなどを見つける機会となり、それを通じて町の活性化につながればと考えている。



町民文化祭での発表



天塩町フェスタでの出演

(3) 天塩高校の体育の授業におけるダンス指導

11月より、天塩高校の体育の授業におけるダンス指導を開始した。対象は2年生と1年生の女子生徒で、それぞれの授業カリキュラムに合わせて11月から翌年3月下旬頃まで行う予定である。授業においては、ヒップホップダンスの基礎的な指導や、全体（1・2年生合同）ダンスの振り付け・構成に関する指導、必要に応じてグループ毎の創作ダンスへの助言等を行う。

天塩高校でダンスの指導を始めたことで、多数の人や様々なレベルの人を同時に指導するうえでどのような工夫をすべきかなどを学ぶ機会となった。また10代の若年層がどういった音楽や文化に興味を抱くかなどについても学ぶことができたので、今後のダンス指導やイベント企画などに活かしていきたい。

(4) 北海道日本ハムファイターズのダンスインストラクターによるダンス教室の視察

北海道日本ハムファイターズのダンスインストラクター（ファイターズガールOG）によるダンス教室が12月4～6日に天塩町内で開催され、ダンス指導の様子を視察した。今回同ダンス教室は、天塩町のこども園、小学校、中学校、高校と、クラスを分けて幅広い年代の人々に対して実施された。久保は業務の都合により、4日（天塩中学校）と5日（こども園、天塩高校）のダンス教室を視察した。それぞれの年齢層に合わせてどのようなレッスンメニューを組んでいるか、また指導するうえでのポイントなどを学んだ。

2. 地元生産者の海外販路拡大支援

地元生産者の海外販路拡大支援の一環として、9月26日から10月5日までシンガポールに出張し、シンガポール高島屋で開催された“Japan Food Matsuri 2018”にて冷凍牛乳の販売支援を行った。現地での販売にあたり、生産者の牧場で生産される牛乳の特徴や他社製品との違い、酪農分野における専門用語などを改めて学び直し、英語によるポップや紹介文の作成等を含め、英語での販売がスムーズに行えるよう準備を行った。また、さらなる商品の販売促進につながるよう、現地（シンガポール人）の高島屋催事スタッフとこまめにコミュニケーションを取り合い、商品の特徴や販売するうえでのポイントなどをきちんと理解してもらえるよう努めた。



出店したフェア全体の様子



販売ブースでの冷凍牛乳の販売

3. マードック大学の観光学研修におけるフォローアップ

オーストラリアのマードック大学の学生が7月に天塩町に来訪し実施した観光学研修に関して、以下のフォローアップに携わった。

- オンラインでの研究成果報告会への参加（11/7）
- マードック大学の学生らが作成した研究成果報告書の和訳

研修に参加したマードック大学の学生らは、本国帰国後、調査研究結果と天塩町への提言をまとめた研究成果報告書を作成した。そしてその内容をもとに、オンラインにて研究成果報告会が行われた。報告書は、文献調査や日本訪問前のオーストラリアでの事前調査、天塩町での観光アクティビティの体験、地域住民との意見交換会などの結果をもとに、天塩町の観光分野における現状と課題を整理し、今後町としてどのような施策を行っていくべきかを提言としてまとめた内容となっており、研究成果報告会ではその概要について発表が行われた。



研究成果報告書については現在和訳を進めており、日本語版の報告書が完成次第、天塩町ホームページにて掲載する予定である。

学生らによるオンラインでの研究成果報告会

4. セミナーの実施

12月6日、道の駅てしおの2階会議室にて、「エコツーリズムセミナー ―地域「資源」 「素材」の生かし方―」を実施した。本セミナーは、久保がエコツーリズムに関連する研修を道内で受講したことをきっかけに発案され、今後の天塩町の観光施策を考えていくうえでエコツーリズムの考え方を町の人々に共有する必要があると考え開催に至った。今回久保の発表と併せ、北陸先端科学技術大学院大学の敷田麻実教授を特別講師・コメンテーターとして迎え、セミナーを開催することとなった。

セミナーでは、久保がエコツーリズムの基本的な概念や、エコツーリズムの概念に基づく天塩町が今後行っていくべき観光施策について説明し、その後敷田氏より、久保の発表への講評、またエコツーリズムについてより発展的に考えるための講義が行われた。敷田氏の発表においては、日本や海外の興味深い観光施策の事例や現状、課題等について触れられ、今後の観光分野の趨勢についても説明頂いた。敷田氏からの説明を受け、参加者の方々は、これまで知らなかった観光施策の方法や考え方などを知ることができ、また観光というテーマについて、改めて俯瞰的に考える機会になったのではないかと考える。今回のセミナーを通じて、参加者の方々がエコツーリズムという考え方をより身近に感じ、今まで気付かなかった天塩町の資源を再認識し、それに基づいた天塩町の観光施策の可能性を感じてもらえていれば幸いである。



久保による発表



敷田氏による発表

5. イベント・来訪者受け入れ等の実施支援

天塩町内外で実施された以下のイベントの実施支援を行った。

- 天塩町公認インスタグラマー料理女子会@参加者宅 (10/7)
- 「松浦武四郎の偉人ぶり・異才ぶりトークショーin 天塩」@天塩町社会福祉会館(10/13)
- 「第5回天塩町フェスタ」(折り紙教室「てしお仮面を折ろう!」)の開催、ダンス教室メンバー有志グループでのダンス出演、イベント実施支援等)@てしお温泉夕映(11/24)
- 「オロロンラインプレゼンツ 冬のるもい大物産展 in チ・カ・ホ」@札幌 (12/13, 14)

天塩町公認インスタグラマーのナヲ氏が天塩町に再び来町し、Instagramでナヲ氏をフォローしている天塩町の同世代の主婦の方々とインスタ映え料理女子会を行った。ナヲ氏が参加者から地元食材やその調理法について学び、また参加者は「インスタ映え」する(写真を見た人がより興味をそそられる)料理の盛り付け方や写真の撮り方などをナヲ氏から学び、ナヲ氏と参加者が互いに学び合う機会となった。

この料理女子会の中では、天塩町が現在開発を進めている商品についての意見交換会も行われた。こうした意見交換を行う中で、参加者が天塩町での暮らしをどう感じているかなど、町全体の取り組みや町おこし活動に対する意見も聞くことができ、今後活動を行っていくうえで大変参考になる意見を得ることができた。

ナヲ氏は自身の公認インスタグラマーとしての業務だけでなく、天塩町の町づくり・町おこし全体にも興味・関心を抱いており、久保や天塩町の職員と定期的な情報・意見交換を行っている。



天塩町公認インスタグラマー料理女子会



天塩町フェスタでの折り紙教室

6. イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集

参加したイベントやセミナー、研修等は以下の通り。

- 「子どもや若者の居場所支援のための研修会」@天塩町保健ふれあいセンター（10/29）
- オオヒシクイに関する勉強会@てしお温泉夕映（11/5）
- 留萌振興局地域おこし協力隊意見交換会@羽幌町役場（11/29）

留萌振興局地域おこし協力隊意見交換会は、留萌管内の地域おこし協力隊や留萌振興局職員、アドバイザーとして同地域の協力隊 OB が一同に会し、互いに交流しネットワークを広げ、今後の活動につなげることを目的として開催された。意見交換会では、協力隊が現在の活動の中で抱えている悩みや課題、他の協力隊への質問などが挙げられ、アドバイザーからアドバイスを頂きながら、ざっくばらんな雰囲気の中で自由に意見交換が行われた。

これまで、他地域の協力隊と交流できるイベント等には積極的に参加してきたものの、留萌地域の協力隊と交流する機会がなかなか無かったため、今回の意見交換会は大変良い機会であった。留萌地域の市町村がそれぞれ単体で町づくり・町おこしに取り組むだけでなく、留萌地域として連携していく必要があると感じていたため、その点について強調した。

7. その他

- 「天塩川を清流にする会」の野鳥調査に参加（10/20, 11/19）
- 振老旧川柏の森復元活動に参加（10/23）
- チーズ&バターづくり@湯の杜ぽっけ（豊富町）に参加（11/8）
- かわまちづくり検討会に参加（12/7）
- かわまちづくりフェノロジーカレンダーの作成（内容の検討、関係者への聞き取りなど）



振老旧川柏の森復元活動での伐り株移植



フェノロジーカレンダー作成に向けた協議

以上

大切なのは人脈 OBが助言

羽幌

留萌中北部・地域協力隊員が意見交換会



地域で抱く思いを参加者それぞれが語った意見交換会

【羽幌】留萌管内中北部4町村(羽幌、初山別、遠別、天塩)で働く地域おこし協力隊員とOBが、羽幌町役場で意見交換会を開いた。隊員は住民に思いを伝えることの難しさを率直に語り、地域で定住や起業を

果たしたOBは人脈づくりの大切さを助言した。留萌振興局の主催で11月29日に開催。天売島の隊員を除く現役の5人に加え、初山別で交流拠点施設を営む佐古大さん(初山別)と、遠別でNPO法人を設

立した原田啓介さん(遠別)のOB2人を招いた。

北海道海鳥センター(羽幌)で勤務する木内裕也さんは、環境に配慮した事業者を応援するシーボードフレンドリー認証制度の取り組みを紹介。「豊かな自然を守るという価値を地元の人たちに分かってもらうのが結構大変」と話した。

アフリカで政府開発援助事業に携わった経験がある久保綾香さん(天塩)は「もやもやしているのはイベントなど何でも無料が当たり前になっていくこと」と指摘。佐古さんは「有料でも来てくれる人はいる。価値を認めてもらうことが大事」とアドバイスした。

原田さんは「遠別にUターンしてきた。自分が幸せになるためにも地域を何とかしたい、という思いがなければ続かない」と述べ、仲間と行動してきた歩みを語った。(長谷川賢)

2018年12月5日(水)北海道新聞朝刊(留萌・宗谷版)に掲載